

これから段々と冬になって行きますが、風邪等引かない様、充分に体調管理をしていってくださいね！  
山も色付いて行き、大自然の美しさを見ることが出来ますね。

「なんてこった～！  
パンナコッタ～！！」

厳しくも心の中は豊かなり

十一月二日(月)

いつの間に気持ち良くなり眠り込む

十一月三日(火)

嬉しいな誕生日におめでとう

十一月四日(水)

何サトル日々を大切 一歩前

十一月五日(木)

行動に出て来る迄は つもりだけ

十一月六日(金)

百合の花 つぼみ膨らみ 花開く

十一月七日(土)

立冬だ 段々寒く 冬向かう

十一月八日(日)



段々と朝晩の冷え込みが厳しくなり、もうすぐそこまで冬が来ている感じがします。  
山も紅葉してきて、鮮やかになって行きますね!

「すいません、このイクラおいくら？」

変動す 安定しない 呼吸機

十月二十六日(月)

まだこの世 生きるこだわり 捨て切れず

十月二十七日(火)

人の為 せめて自分が 出来る事

十月二十八日(水)

何あるも 内なる想い 大切に

十月二十九日(木)

この世での 個々の役割 果たして

十月三十日(木)

早いもの 今年最後の 神無月

十月三十一日(土)

霜月に 気持ち新たに 望むなり

十一月一日(日)



これから段々と寒くなっていきますが、それなりの対策をして乗り越えて行きたいものですね！  
体調を崩さない様、気をつけて下さいね！

「これなんじゃ～？  
炊飯ジャ～！」

すまないね 夜中に何度 起こしたか

十月一九日（月）

海渡り 遠くから来て 世話になる

十月二十日（火）

可愛いね 小ダマリの様 ダリアだね

十月二十一日（水）

歯を支え キュキュキュと 歯茎鳴る

十月二十二日（木）

波の様 山あり谷の 繰り返し

十月二十三日（金）

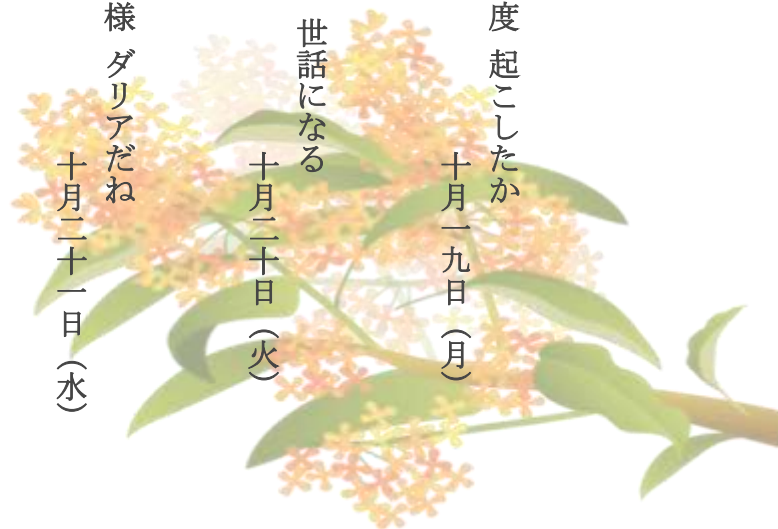
朝が来て 今日一日 始まるよ

十月二十四日（土）

有り難い 一人ひとりが してくれて

狎れ過ぎて 薄らいでいる 感謝が

十月二十五日（日）



お陰様 在宅生活 感謝す

今頃は、寒暖の差も大きくなって冷え込みが厳しくなってきましたね。

一体調を崩さない様、気をつけて下さいね！

「手が痒いよ～！

誰か、かいて～！」

有り難い 気が付く人になりたいね

十月五日（月）



もうすでに与えられてる 幸せが

十月六日（火）

支えくれ 世話になったね ありがとう

十月七日（水）

よかったね いつもと変わらぬ 朝迎え

十月七日（水）

最近は、「つるべ落とし」の様に夜が明けるのも遅く日が暮れるのも早くなって、昼間が短くなってあっという間に日々が過ぎていく様です。  
皆さんは、いかがですか？

「揚げたての天ぷら

あなたに食べさせてあげる！」

そのこのコイー早くこの滝を登ってこい！

したい事許されている有り難さ

九月十四日

久しぶり父の元気な顔見られ  
お父さん ヘルパーに礼頭下げ

九月十五日

ああ今日 どんな一日なるのだろ

九月十六日

段々と朝と昼の寒暖の差が大きくなって来て、  
秋の深まりを感じますね。

9. 21 (月)

許されて 互い出来る内 やって行く

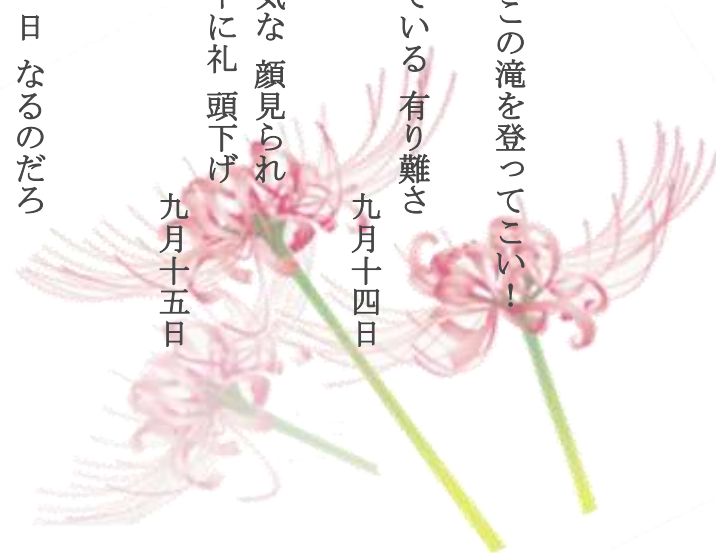
九月二十一日

周り見ず 自己満足の 今の吾

九月二十二日

沢山に 日々の生活 助けられ

九月二十三日



立秋が過ぎ、何となく朝方が涼しくなって来ましたね。

「この長く続く残暑は  
なんざんしょ！」

朝目覚め息してること 不思議だね

八月十日 (月)

それぞれに 温度差違い 難しき

八月十一日 (火)

残暑に 久しぶり雨 熱冷やす

八月十二日 (水)

自然体 どうなろうとも 生かされて

八月十三日 (木)

先祖様 盆三ヶ日 帰られる

八月十四日 (金)

盆迎え 朝方涼し 秋風か

二度とせぬ 終戦の日 引継ぎを

八月十五日 (土)

我欲取り 成り行き任せ やって行く

八月一六日 (火)



立秋が過ぎ、あくる朝は涼しく感じました。が、まだまだ残暑が厳しい日が続くと思いますので、これからも十分に体調管理には気をつけてくださいね！

この前初めての事ですが、フレックスチューブのふたが気管支の痰を取り終えていざしようとしたところ見つからず、手でふたをしアンビューをしながら新しい予備のフレックスチューブに換え、両手が開いたところでゆっくりとふたを探し、どう付いていたかを確認して元のフレックスに換えました。

妻が、あわてず落ち着いて対処してくれたので事なきを得ました。  
これが妻でなかったらと思うと、どうなっていたか分かりません！

(この事を皆さんにお伝えし、近くに予備のフレックスチューブを万一の為に置いておくことにしました。)

皆さんも、これからどんな事が起こるかもしれませんので事例として気をつけて下さいね。

**「宇宙船地球号、いざ発進！  
—世界の人々に平和のメッセージをはっしん！」**

何はさて 目の前の事 感謝し

八月三日 (月)

息が出来 普通にいれる 有り難さ

八月四日 (火)

一日を どう充実 させるのか

八月五日 (水)

手を合わせ 冥福祈る 安らかに

八月六日 (木)

出来る事 コツコツ やって 積み重ね

八月七日 (金)

立秋 猛暑どこまで 続くのか

明るくね 常に前向き 生き抜いて

八月八日 (土)

肝銘じ 二度と戦争 起こさない

全世界 一つしかない 地球なり

八月九日 (日)



もうすぐ広島と長崎に落とされた原爆の日を迎えますが、沢山の人の犠牲のうえで、今こうして幸せに暮らせている事を忘れてはいけませんね！

二度と戦争が起こらないことを願うばかりです。

出来るだけ夜吸引なさぬ様

七月二十七日（月）

何となく人間模様 見えてくる

七月二十八日（火）

ありがたや 困った時の救いの手

少しづつ 教えて貰い 出来ていく

七月二十九日（木）

二度と来ぬ この瞬間 大切に

七月三十日（木）

早いもの 今年文月 最後の日

役に立つ この体験を 来世に

七月三十一日（金）

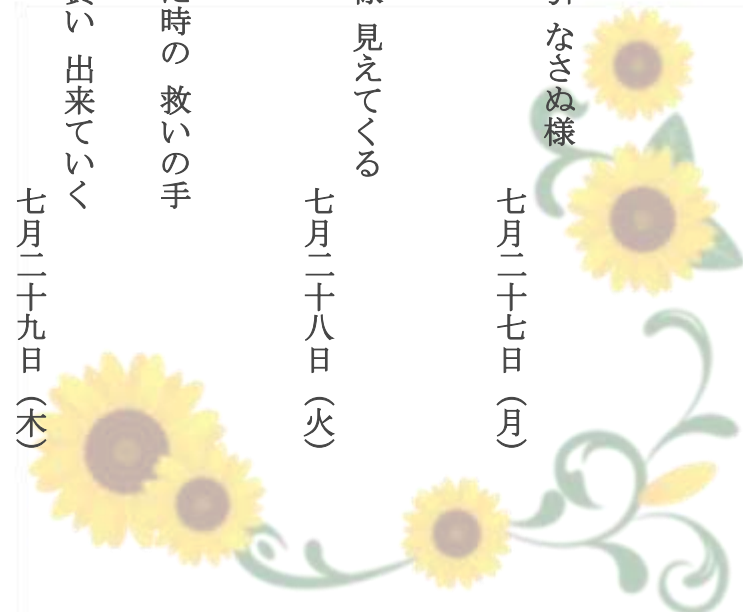
葉月来て 新たな気持ち 望むなり

八月一日（土）

欲張らず 今出来る事 少しづつ

変わらずに いつもの様に 始まるよ

八月二日（日）





梅雨も開け、台風が相次いで発生し各地で被害をもたらしています。

何事も無いことを願うばかりですが、これだけは自然の猛威には成す術がありませんね！

これから暑い夏を迎えますが、暑さ対策を万全にして頑張って猛暑を乗り切って行きましょう！

### 「再度、サイドチューブから、唾液を取って～！」

やってみる 思ってる事 チャレンジ

生きた証 我人生に 時刻む

七月二十日(月)

周り知り 己の立場 知ること

七月二十一日(火)

出来る様 先を見越して 少しづつ

大切だ 現物よく見 考える

七月二十二日(水)

何事も 一時が万事 それなりに

心掛け 物は大切 物尊で

あちこちと 知覚過敏が 巡ってる

七月二十三日(木)

現実 矛盾だらけ 在宅は

在宅は 大きな○中 暮らせてる

七月二十四日(金)

分かってない 本当の事 見えてない

七月二十五日(土)

共生 皆で助け合い やって行く

風吹いて 風鈴の音 涼しさを

七月二十六日(日)



大型台風も無事通過し、梅雨明けもまじかかで、また暑い夏が来そうですね！

「かもを呼ぶ時は

～「ヘイ、カモン」と呼ぶんだよ！」

真夜中に地震揺れ風吹き荒れて

七月十三日（月）

とめどなく降りしきる雨たちつくし

七月十四日（火）

いっどこで何が起こるか分からない

不気味なり嵐の前の晴れ間かな

七月十五日（水）

爽やかな風が窓から吹いて来る

七月十六日（木）

髪切りて心新たに切り替えて

ひと安心 台風それて被害小

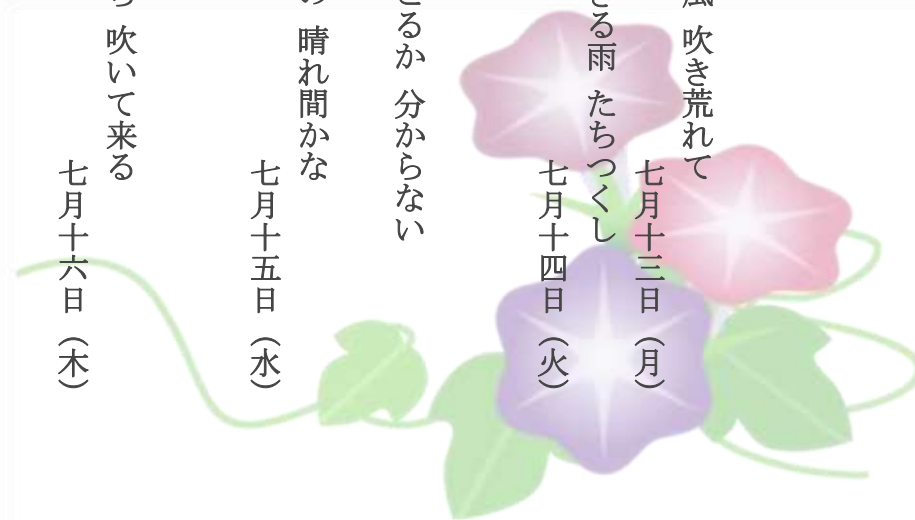
七月十七日（金）

少なくとも希望の光 見つけ出せ

七月十八日（土）

蝉が鳴く 夏本番か 梅雨明けて

七月十九日（日）



このところ蒸し暑い日が続いていますが、しっかり水分補給をして体調管理に気をつけて行きましょう！

「今から栄養を始めてもいい？」

「～えーよー！（^。^）y」

ヒトとして微力ながら出来る事

上向いて常に前進 一歩でも

七月六日（月）

不在 ヘルパー頼み 身を任せ

機を捉えその時出来る ことをする

七月七日（火）

それぞれが皆思いにて してくれて

肝銘じ 真の気持ち を 忘れまじ

自然界 あらゆるものが 共生

七月八日（水）

いっどこでも 誰かがきつと 見守って

何故かしら よく固まるよ マイトビー

七月九日（木）

段々と皆老いていく 考慮し

インプットしたはずなのに 忘れてる

七月十日（金）

無事過ごせ 明日はどんな日 楽しみに

あれこれと 温度調整 大変だ

これでいい ふと振り返り 我見つめ

七月十一日（土）

少しづつ 今出来る事 やって行く

七月十二日（日）



患者のY.Rさんからです(\*^。^\*)

こんにちは！！

今回から、少しでも和んでいただこうと駄洒落コーナーを設けたいと思いますので、宜しくお願いします。

「 誤って毛を抜いてしまった時はー ちょっと、しっけ〜！ 」

これからは 雨に映ゆるよ 紫陽花が

少しでも サトれる様に 精進

今月も 今年半分 終わりの日

幻想の 光を放つ 蛍かな

光持ち 我も照らしたい 世の中を

リセットを 新たな月に 切り替えて

駄目もとで トライしてみる 思う事

真夜中に 目覚めひたすら 朝を待つ

鳥の声 どこか待ってる 自分いる

何思う 刻一刻と 過ぎる中

マイトビー 解らぬままで してる我

段々と 我を取り角を 丸くする

お陰様 お世話になりて 今日あり

気を長く 何か起きたら その時に

先のこと 事態考え 備えとく

六月二十九日

六月三十日

七月一日

七月二日

七月三日

七月四日

七月五日

